SPECIAL PARTS TAKEGAWA

ＣＲＦ　１５０用　ビッグキャブレターキット（ＴＶ２６）
取扱説明書

商品番号　　：０３－０５－３３４
適応車種　　：ＣＲＦ１５０（ＫＰＴ）
フレーム番号：’０２モデル～

・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎補修部品に付きましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
◎キット内のキャブレターは、ミクニ製ＶＭ２６と同じ物ではありません。構成部品が異なりますので、ご注意下さい。
◎キャブレターは、天候・湿度・気温・標高や気圧等、自然現象及び車体差、キャブレター個体差等によりセッティングを変更する必要があります。個々のエンジン、条件に合ったセッティングを行って下さい。

⚠注意　下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・作業等を行う際は、必ず冷間時３５℃（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。
（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。
（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。
（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。
（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）

⚠警告　下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。
（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。
（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）
・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて戴きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

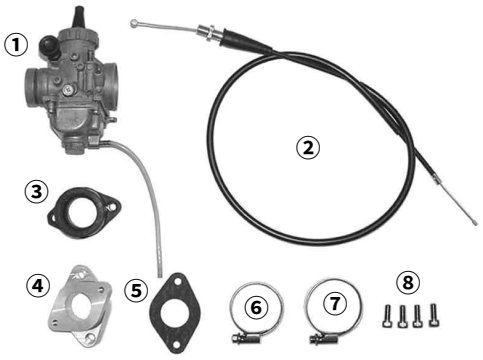
キャブレターの初期セッティング

メインジェット	＃１９０
パイロットジェット	＃２２．５
ジェットニードル	５Ｅ７５
クリップポジション	３段目
スロットルバルブカッターウェイ	＃１．５
エアスクリューオープニング	１回転戻し

メインジェットはＶＭ２６用、パイロットジェットはＶＭ２４用をご使用下さい。

Nov./06/ 03

～商　品　内　容～



番号	商　品　内　容	数量
1	キャブレター本体（ＴＶ２６）	1
2	スロットルケーブル	1
3	インシュレーター	1
4	インレットパイプ	1
5	ガスケット	1
6	ホースクランプ（３０～４５mm用）	1
7	ホースクランプ（３２～５０mm用）	1
8	ソケットキャップスクリュー　６×１５	4

～取　り　付　け　要　領～

１．水平で安全な場所で、メンテナンススタンド等を用いて車両を安定させます。

２．フュ－エルコックを閉じて、キャブレターのドレンコックを開き、フロートチャンバー内のガソリンを受け皿に抜き取ってから、フュ－エルホースの接続を、キャブレター側から外します。

３．シートとフュ－エルタンクを車両から取り外します。

４．キャブレタートップを外し、スロットルバルブをスロットルケーブルごと、キャブレター本体より取り外します。

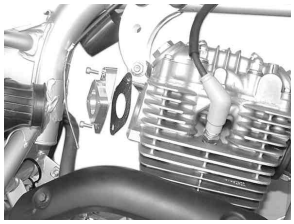
５．スロットルバルブとスロットルケーブル及びキャブレタートップを分離します。

６．スロットルケーブルをキット付属の物に交換するため、スロットルグリップハウジングのスクリュー２本を取り外し、スロットルグリップハウジングから、現在付いているスロットルケーブルを取り外し、車両よりケーブルを外します。
※この時、スロットルケーブルの取り回しや、グリップの取り付け角度を記録しておく事をお勧めします。

７．キット付属のスロットルケーブルを、スロットルハウジングに取り付け、純正ケーブルと同じ様に取り回しておきます。

８．キャブレターとエアクリーナーを接続しているクランプを緩め、現在付いているキャブレターを、インレットパイプごと取り外します。
※インテークポート内に異物等が入らない様に注意して下さい。

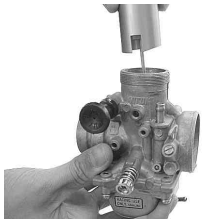
９．シリンダーヘッドとインレットパイプの間に、インレットパイプガスケットを挟み、インレットパイプをキット付属のソケットキャップスクリューで締め付けます。
※ガスケットには表裏があります。間違えるとポート穴位置が合いませんので、ご注意下さい。
トルク：１０Ｎ・ｍ(１.０ｋｇｆ・ｍ)



１０．インレットパイプにインシュレーターをソケットキャップスクリュー２本を用いて締め付けます。
トルク：１０Ｎ・ｍ(１.０ｋｇｆ・ｍ)

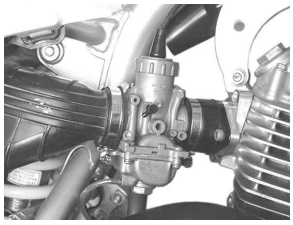
１１．キットのキャブレターのトップカバーを外して、スプリングとスロットルバルブを抜き取ります。
スロットルケーブルをキャブレターに付いているラバー製のケーブルキャップに通してから、インナーケーブルをキャブレターのトップカバーから通し、さらにスプリングを通して、スプリングを縮めながらスロットルバルブに取り付けます。

１２．スロットルバルブの切り欠き部をスロットルトップスクリューに合わせて、キャブレターに取り付けます。

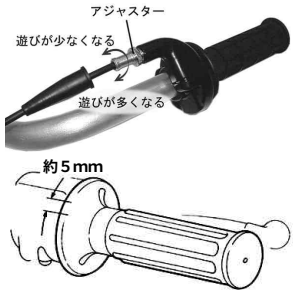


１３．キャブレターのエアクリーナーＢＯＸ側をまず先に差し込み、ホースクランプ（３２～５０mm）で締め付けます。
※差し込みが硬いので、入りにくい場合は、マイナスドライバー等を用いて差し込んで下さい。また、クランプはなるべくキャブレターに近い位置で締め付けて下さい。

１４．次にキャブレターをインシュレーターに差し込み、ホースクランプ（３０～４５mm）で締め付けます。



１５．スロットルグリップ部で５mm程度の遊びが出来るように、スロットルケーブルのアジャスターを調整します。調整後はラバー製のアジャスターカバーをアジャスター部に被せて下さい。



１６．スロットルを数回スナップさせ、引っかかりやスロットルバルブの全開状態を確認します。ステアリングを左右一杯に切った状態でもスロットルに遊びがあることを確認して下さい。

１７．フュ－エルタンクを車体に取り付け、フュ－エルホースをキャブレターに接続します。フュ－エルコックを開いて各部からのガソリンの漏れの有無を確認します。（コックを開いたまま長時間放置しないで下さい。）

１８．エアクリーナーＢＯＸの上面のリストリクターを取り外します。
取り付けたままですと、ビッグキャブレターの性能が発揮されません。

１９．シートを元通り取り付けます。

２０．チョークレバーを引き、エンジンを始動させます。
チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転を行い、チョークレバーを完全に戻します。
エンジン暖機後アイドリングしない場合や、アイドリング回転が高すぎる場合は、スロットルストップスクリューで調整します。

２１．安全な場所で十分注意し、個々に合ったセッティングを行って下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA
〒５８４－００６９　大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７　FAX ０７２１－２４－５０５９
URL http://www.takegawa.co.jp